

成果の説明書

(氏名) 名和賢美	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>2022年度に最も力を注いだのは、前年度に引き続き、「論理的表現力と批判的思考力を主軸とした市民教育プログラム構築に向けた調査研究」であり、関連する教育研究の成果等の概要は、以下の通りである。</p> <p>(1) 高等教育での教育研究：経済学部教養教育委員会日本語部会の部会長（通年） 経済学部初年次必修科目「日本語リテラシーⅠ・Ⅱ」の授業内容・授業方法の検討や担当者の選定などを逐条審議する部会を定期的に主宰した。さらに、以下の3点の編集・作成作業も行った。 『「日本語リテラシーⅡ」指導要領2022年度版』（全33頁の作成を担当） 『「日本語リテラシーⅠ」指導要領2023年度版』（1～69頁の作成を担当） 『「日本語リテラシーⅠ」教材集2023年度版』（1～16、42～72頁の作成を担当） また、雑誌『文部科学教育通信』にて、同科目に関連する「高崎経済大学における日本語リテラシー教育の取り組み」という連載を、以下の通り、完結させた。 第4回『「高崎経済大が若手研究者を育てているらしい？」の真相』（No. 529、18-19頁） 最終回「三部構成の基礎固め八カ条」（No. 530、16-17頁） さらに、初年次教育の構想・実践に関しては、以下の発表の機会もあった。 名和賢美「日本語リテラシー教育の授業デザイン：高崎経済大学における初年次教育強化策」、一橋大学アカデミックキャリア講習会（2023年1月24日、於一橋大学）。</p> <p>(2) 古代ギリシアにおける市民教育に関わる研究 弁論術の創始者であるコラクスが発見した弁論の三部構成に関して、また弁論教育における代表的人物であるイソクラテスが実践した作文教育に関して、古典ギリシア語原典史料の蒐集・整理作業を継続した。</p>	
2 その他の事項	
<p>(1) ラジオ高崎「ラジオゼミナール」への出演 第38回（1月13日放送）では、これまでの経歴を略説したうえで、現在担当する科目の授業内容や教育上の特色などについて説明した。 第39回（1月20日放送）では、古代ギリシアの政治について制度面と思想面から解説したうえで、弁論術を核とする古代ギリシアの市民教育論に関して説明した。</p>	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>前年度と同一テーマが最重要課題となる。高等教育での教育研究では、日本語部会長を継続して、10年目を迎えた日本語リテラシー科目の強化充実に努める。さらに、古代ギリシア研究の面でも、弁論術教育に関わる史料の本格的な読解を進めていきたい。</p>	